

農林水産統計見直しの方向

現在の統計調査

- 経営統計**
- 農業経営統計調査(営農類型別:水田作、畑作、酪農など13類型、品目別:小豆、きゅうり、りんごなど65品目、生産費:米、牛乳など15品目)
 - 農業物価統計調査(職員調査) ● 農業組織経営体経営調査
 - 環境保全型農業推進農家の経営分析調査

- 構造統計**
- 農業構造動態(標本農家:70,000戸) ● 新規就業者等調査
 - 農道・林道整備状況調査
 - 農林業センサス(2005年センサスで抜本見直し) ● 農林業センサスに係る試行調査
 - 持続的生産環境に関する実態調査

- 生産統計**
- 作物統計調査のうち
 - ・水稻生育情報(2回) ・作付面積(職員調査)
 - ・予想収穫量(米、野菜など25品目) ・畑作物(麦等)、野菜・果樹、茶、花き収穫(生産)量調査(毎年全国調査)
 - ・てんさい、さとうきび収穫量(職員調査)
 - 特定農作物統計調査(主に職員調査)
 - 畜産統計調査(職員調査) ● 畜産統計調査(調査員調査)

- 流通消費統計**
- 食品ロス統計調査(世帯、外食産業等に対して主に職員調査)
 - 牛乳乳製品統計調査(乳製品工場等に対して主に職員調査)
 - 食品流通構造調査(卸売業者等に対して主に職員調査)
 - 生鮮食料品価格・販売動向調査(小売業者に対して職員・郵送調査)
 - 食品流通段階別価格形成調査(卸売業者等に対して主に職員調査、青果物・水産物)
 - 青果物卸売市場調査(卸売会社に対して職員・郵送調査)
 - 花き卸売市場調査(卸売業者に対して職員・郵送調査)
 - 畜産物流通統計調査(食肉処理場等に対して主に職員調査)
 - 食品産業動向調査(製造業者、外食産業等に対して郵送調査)

- 林業統計**
- 林業経営統計調査(職員調査)
 - 林業組織経営体経営調査(素材生産業者等に対して職員調査)
 - 製材統計調査(製材工場等に対して主に調査員調査)
 - 木材流通調査(卸売業者等に対して主に調査員調査)

- 水産統計**
- 漁業センサス
 - 海面漁業生産統計調査(職員・調査員調査)
 - 内水面漁業生産統計(主に職員調査)
 - 漁業経営調査(職員調査)
 - 水産物流通調査のうち
 - ・消費地水産物流通調査(卸売業者に対して職員・郵送調査)
 - ・冷蔵水産物流通調査(冷凍冷蔵工場に対して職員・郵送調査)
 - ・水産加工統計調査(全調査区を悉皆調査)

合計 32調査
(職員19、調査員7、郵送・オンライン6)

注:調査名が緑色である調査は動態調査
青色である調査は静態調査

ステップ1

- 経営統計**
- 農業経営統計調査(16年1月に開始した新体系調査を継続)
 - ◎ 農業物価統計調査(調査員調査化)
 - 農業組織経営体経営調査(農業経営統計調査に統合)
 - 環境保全型農業推進農家の経営分析調査

- 構造統計**
- ◎ 農業構造動態(標本農家:16,000戸) ◎ 新規就業者等調査(調査方法等の変更)
 - 農道・林道整備状況調査(所管替え)
 - 農林業センサス ○ 農林業センサスに係る試行調査(廃止)
 - 持続的生産環境に関する実態調査

- 生産統計**
- ◎ 作物統計調査のうち
 - ・水稻生育情報(廃止) ・作付面積(調査員調査化)
 - ・予想収穫量(5品目、野菜・果樹廃止) ・畑作物(麦等)、野菜・果樹、茶、花き収穫(生産)量調査(主産県調査化(全国調査は3年周期))
 - ・てんさい、さとうきび収穫量(郵送調査化)
 - ◎ 特定農作物統計調査(調査員・郵送調査化)
 - 畜産統計調査(郵送調査化)

- 流通消費統計**
- ◎ 食品ロス統計調査(調査員調査化)
 - ◎ 牛乳乳製品統計調査(調査員調査化)
 - ◎ 食品流通構造調査(調査員調査化)
 - ◎ 生鮮食料品価格・販売動向調査(調査員・郵送調査化)
 - ◎ 食品流通段階別価格形成調査(調査員調査化、水産物は周年化)
 - ◎ 青果物卸売市場調査(郵送・オンライン調査化)
 - ◎ 花き卸売市場調査(郵送・オンライン調査化)
 - ◎ 畜産物流通統計調査(郵送調査化)
 - 食品産業動向調査

- 林業統計**
- ◎ 林業経営統計調査(郵送・オンライン調査導入)
 - 林業組織経営体経営調査(所管替え又は廃止)
 - ◎ 製材統計調査(郵送・オンライン調査化)
 - ◎ 木材流通調査(郵送・オンライン調査化)

- 水産統計**
- ◎ 漁業センサス(漁業従事者世帯調査、漁業集落に関する調査、水産物流通機関調査廃止)
 - ◎ 海面漁業生産統計調査(一部廃止、調査員調査化)
 - ◎ 内水面漁業生産統計(調査員・郵送調査化)
 - ◎ 漁業経営調査(郵送・オンライン調査導入)
 - ◎ 水産物流通調査のうち
 - ・消費地水産物流通調査(廃止)
 - ・冷蔵水産物流通調査(調査員・郵送・オンライン調査化)
 - ・水産加工統計調査(標本調査化)

合計 27調査
(職員6、調査員12、郵送・オンライン9)

注:調査名の前に付した記号は次のとおり。
◎ 見直して実施する調査
○ 廃止又は他部局に所管替えする調査
□ 現状維持で実施する調査

ステップ2

品目横断的政策の具体化等、農政改革の進捗に対応して経営統計を抜本的に見直し

- 調査対象の絞り込み(例えば「担い手」に限定)
- 調査対象における簿記記帳の進捗度合に応じた調査手法(自計・郵送調査等)の導入
- 価格算定等に必要がなくなった農産物生産費の廃止(品目別経営コストについては、営農類型別経営統計から加工統計として作成)

政策ニーズに即し、かつ、効率的な農林水産統計の実現

ニーズが低下したものの
廃止

アウトソーシングの推進のため
調査員化

調査内容を簡素化して
郵送・オンライン化

利用実態に即して
周年化